

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	Madre みらいテラス			公表日	2026年 3月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	学習室とプレイルームを分けており、十分な広さを確保している。	プレイルームと学習室の境界線を明確にする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	障がいの特性に合った人員配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	遊び道具の場所、学習室、事務所などがわかりやすいように床にテープを貼ったり、絵を貼り、表示している。	荷物置き場所と玄関が離れていたり、遊具が子どもが届かない位置に配置している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	時間を決めてアルコール消毒し、清潔を心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室を使用し、落ち着いて療育できる環境を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	指導員兼、送迎担当で参加が出来ていない場合はLINEなどで情報共有し意見を聴取している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケート回収後は保護者様からのご意見をスタッフで共有し改善点などを検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的な会議で意見交換し、改善点など検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	外部評価はできていませんが、全スタッフ（児童指導員、ドライバーなど）で評価しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的な研修受講し、研修受講者からの研修報告を施設内で実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	定期的なアセスメントをし、モニタリングなどで保護者と児童のニーズを確認し支援計画を立案している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援計画立案時はスタッフ間でカンファレンスをし情報共有をして支援内容を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画立案後は支援内容を共有し、日々の療育につなげている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々、行動観察を各スタッフで実施しアセスメントに繋げている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	保護者様や地域、各関係機関と連携を図り、支援計画の立案を実施している。特に放デイに移行する児童は必ず実施できるように心掛けている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	チーム全体で行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	スタッフが様々な視点からアセスメントし スタッフごとに方法を変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	集団のイベントや、個々で何かを作成するな ど実施している。児童との関わりを持てるよ う集団活動を計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼で行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼で行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	連絡帳に記載している。 写真や動画で記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	自立と社会参加を目指し、支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	相談支援会議などで連携を図っている。高学年になると 将来のビジョンなども形成されている児童もいるため、 児童の意見を取り入れるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	支援計画の公表、連携を図り、支援内容を各 関係機関で確認している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	できる場合は実施している。	学校側との調整ができない時がある。 相談支援員さんの介入がない場合など。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校側、または保護者様を通して行ってい る。新学期の施設に向けた学校説明会は参加 している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	放デイに移行する場合は各関係機関と情報共 有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	現在、移行した児童はいない。今後する場 合は施設内のファイルを提供できる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	各自、自分に必要なスキルを把握し研修など に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	送迎時に交流を図っている。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	モニタリングの時や、送迎時などに交流を図 り、情報交換をしている。 動画などでわかりやすくしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	必要な家族支援プログラムがあれば、送迎時 やLINEで情報提供している。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	モニタリングの時に説明、必要時はその都度 説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングに時に家族の意向を確認すると ともに、児童の意向も利用児には確認してい る。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得ている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	モニタリングの時に確認している。 必要であればモニタリング時期でなくても、電話や送迎時に確認している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	少人数では実施。	プライバシー保護の観点から大人数ではできていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	利用申込用紙に行事予定を記載している。	SNSはプライバシー保護の為実施していない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	留意できている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	実際に動画などで施設内での様子を確認して頂いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	見学等は受け入れている。	プライバシー保護の為行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルのもと実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	マニュアルのもと実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	初回モニタリング、定期的なモニタリングで確認している。	現在該当なし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	初回モニタリング、定期的なモニタリングで確認している。	現在該当なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全対策にむけた訓練や研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	モニタリングの時に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	迅速に共有し、対応策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止マニュアルの設置、ストレスチェックアンケートの実施をしている。 研修の参加の呼びかけ。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	記載している。 身体拘束マニュアルを作成、保管し周知している。		